

## 山行報告 : 奥白根山

(山域) 日光山系

(コース) 菅沼登山口→弥陀ヶ池→奥白根→(往路を戻り)菅沼登山口

(日時) 12月25日(日)

(参加者) CL柘植 SL澤田(淳) 大木 鈴木(憲) 下重(記録)

(山行タイム) 沼登山口 7:30→弥陀ヶ池 9:30→奥白根 11:30→弥陀ヶ池 12:30→菅沼登山口 2:30

(山行記録)

前夜に出発、道の駅で宿泊後、早朝に出発し、7:00頃菅沼登山口に到着した。駐車場には10台前後の車がすでに駐車していた。装備を整え、7:30頃出発。登山者が多いため、雪が踏み固められていたためワカンを持たなかった(1名除く)。登山道とは反対に、周囲はフカフカした新雪で積もっていた。弥陀ヶ池まではかなり順調であった。途中狭いところはあったが、道は踏み固められ、特に苦勞することもなく弥陀ヶ池に到着することができた。ここで小休止をとり、アイゼンを装着した。山頂付近はガスが立ち込め、池からでは望むことは出来なかったが美しい風景であった。20分ほど小休止と準備に費やした後、山頂に向けて出発した。



出発してからすぐ道の傾斜があがった。道自体は踏み固められ、歩きにくいという印象は受けなかったが、傾斜があがったため、息があがった。しばらく行くと、岩肌に氷が張った地帯も増えてくる。私個人は、耐寒訓練の経験はあったが、雪山の登山は初めてで、当然、傾斜がある氷の張った岩肌を登るのも初めてであった。また、氷を含んだ強い風が吹いてくる。サングラスが凍りつき、ゴーグルを持ってこなかったことを後悔した。道がせまく、他の登山者とすれ違うのに苦勞する。



弥陀ヶ池湖畔を歩く



澤田さんと奥白根山頂



核心部の凍ったルンゼ



ルンゼを抜けたところ

11:30頃山頂に到着した。ガスがかかり、山頂から眺望は望めなかったが、初めての雪山登山で登頂に成功し、心は晴れ晴れしていた。寒風が吹きすさぶため、相当気温が低いかと思い、山頂の立て札にかかっている温度計を見ると、気温が20℃をさしていた。役に立たない。



山頂部分は岩場で、それほど多くの人滞在できるほど広くなかったため、写真を撮り早々に降りる。登りも苦しかったが、降りも苦しかった。ツルツルした氷が張った岩の面を慎重に降りる。降りには足を滑らすと、一層滑落の危険が高まるため、否が応でも緊張した。

急な斜面もあり何度と無く緊張したが、下山は弥陀ヶ池までは問題はなかった。しかし、弥陀ヶ池以降は少しつらかった。長い。登りの時はそれほど感じなかったが、降りてみると長く感じた。または、弥陀ヶ池でアイゼンをはずしたため、それ以降の降りの雪道は非常に滑りやすかった。やったことはないが、スキーをしているかのような感覚に襲われた。

弥陀ヶ池から登山口まで2時間を要したが、無事に下山することが出来た。下山後湯につかると本当に心からあたたまるような気がした。そして洪川の焼肉レストランでみんなで石焼ビビンバを食べ帰葉した。初めての雪山登山で柘植さんをはじめ、皆さんには大変お世話になりました。またよろしく願います。